

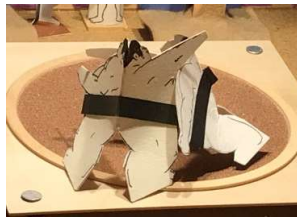
照の王は今場所十兩に陥落してその成績が注目されたが、何とか内復帰を果たせそうだが、その一方で、醍醐、響竜、雪若丸が幕下へ陥落となりそう。錦風一門としては2人も関取が減り、若手も育つておらず、立て直しが急務。鞍ノ城引退枠で新十兩デビューの雪若丸は幕下からの出直しとなった。(錦風)



照の王○(上手投げ)●琴乃王

春日根、念願の幕下制覇

優勝は春日根部屋の西磯野が勝間田部屋の「鉄ちゃん」こと鉄ノ里に勝って、優勝を勝ち取るとともに新十兩もほぼ手中にした。



鉄ノ里●(寄り切り)○西磯野

春日根親方としては優勝が嬉しいのは当然のことだが、まさか十兩昇進できるとは思っていなかった。これには「嬉しいですね！来場所が楽しみですよ！」大喜びしていた。5月開催の次場所初日には私用の予定を急遽キャンセルしたとのこと。四股名についても、早速、後援会から改名の話が持ち上がったという。初土俵以来、1敗しかまだしていない怪物が十兩の土俵でどのような相撲を見せてくれるのか、今から楽しみだ。



黒雲海○(寄り切り)●麒麟王

その他には、黒雲海と英乃濱の十兩昇進が有望。黒雲海はもと関脇黒雲山の一弟子。幕下でデビューして12場所目にあつと掴んだ嬉し目に関取の座という事になりそう。

幕下在位28場所の若東は幕下からの陥落が決定的となり、千秋楽が最後の土俵となった。有終の美を飾りたかったが、幕下筆頭のかつた若との相撲で押し倒しに敗れて白星を上げた土俵に別れを告げた。(錦風)



江戸若○(押し倒し)●若東

三段目、序の口

三段目は繁元が柏陵山を寄り切った。5戦全勝で優勝を決めた。九十九勢の三段目での優勝は長居(現、生駒山)と堀江(現、日向彦)に次いで3人目。もっとやれるものと思ったが、やはり三段目にもなる九十九勢でも優勝はそこ容易いことではないところか。



繁元○(寄り切り)●柏陵山

その九十九勢と優勝を争うと見られた春日根の西神門、西渡海、西の富士は4勝1敗の好成績。惜しくも優勝にはあと一步届かなかったが来場所とともに上位に番付をあげるのには間違いのない。3人とも今回は繁元との取組で今から楽しみだ。

友砂部屋は真田丸を筆頭に暫と綱豊ともに全員が勝ち越し。しかし理事長部屋となった朝日松の荒嶋と駒波は千秋楽に敗れて負け越は2枠と少なく、今のところ真田丸と柏陵山辺りが有力。

序二段は、三国と松山の争いとなり、松山に破り優勝を飾った。139回場所に入場が139回場所振りだったが、10場所振りの土俵にして松山が見事に優勝という偉業で期待に応えた。大松戸親方の地道なスカウトが実を結んだ賜物か。来場所一層の活躍が期待される。



松山○(寄り切り)●三国

吉永以来の序二段優勝を狙った三国だったが叶わず、早くも三段目での松山とのリベンジを誓っていた。香具山部屋は他にも黒田も4勝、山下も千秋楽に勝って勝ち越した。桐壺部屋では実力では引けを取らない虎前田も4勝を上げる活躍を見せた。



勝錦○(押し倒し)●逆川

序の口の優勝争いは、逆川と勝錦の朝日松一門同士の対決となり、勝錦(朝日松)が逆川(錦風)を押し倒して逃げ優勝を決めた。勝錦は大松戸の松山と同じバランスがよい感じ。これから注目ポイントになって行くかも。力士になって行くかもしれない。友砂部屋の序の口優勝は富嶽以来だが、その四股名から「カツキン」との愛称で人気急上昇、富嶽を超える力士になることを友砂親方も期待していることだろう。

今場所は久々に多くの新弟子が番付に名を連ね、その中では4勝を上げた梅野、鹿珪翔、柴橋の他、千秋楽に勝ち越した戸田や、鎧馬流らも来場所の活躍が楽しみだ。

富士浪部屋の奮闘は富士の海とともに春日根再生施術により復活を遂げ勝ち越しを果した。一方、TV番組から出たメカ富士、麻酔龍、獣王はもと負け越し。序の口とは言い、勝ち越すことはそんなに甘いものではないことを、改めて証明された形となった。(勝間田)

古今東西

紙相撲豆知識(50) スーパーキー西磯野

名門春日根部屋からついに超大型新人が登場した。先陣を切って幕下に入った西勢ノ里を始め西安、西神門、西渡海ら有望力士が目白押しだが、なかでも今場所幕下優勝し、来場所十兩に一番乗りする西磯野は別格だ。



なにせ育成会で初土俵以来、負けたのは先場所千秋楽の一番のみ。19勝1敗、わずか4場所関取の地位を手にした。

- 第145回 序二段東付出
 - 寄り切り 黒天狐(播磨屋)
 - 寄り切り 黒天鴉(富士浪)
 - 寄り切り 武乃花(富土浪)
 - 寄り切り 鹿牛田(鹿賀戸)
 - 押し倒し 虹文字(錦風)
- 第146回 三段目西七枚目
 - 押し倒し 椋塚(九十九)
 - 寄り切り 江戸愛(江戸川)
 - 寄り切り 荒波(朝日松)
 - 寄り切り 駒鯉(朝日松)
 - 押し倒し 菊地原(九十九)
- 第147回 幕下西十四枚目
 - 寄り切り 春雷(勝間田)
 - 寄り切り 大獅子(勝間田)
 - 寄り切り 陸皇(鹿賀戸)
 - 押し倒し 若雲山(播磨屋)
 - 押し倒し 龍不動(播磨屋)
- 第148回 幕下西八枚目
 - 寄り切り 山辺(勝間田)
 - 押し倒し 吉備里(磯ノ海)
 - 寄り切り 梁ノ城(麻縄)
 - 寄り切り 麒麟王(友砂)
 - 寄り切り 鉄ノ里(勝間田)

勝ち星の全てが寄り押し。出足で相手を圧倒し、一重に寄り切るスタイルは安定感抜群だ。廻しを重くしてのこれからは勝安だが、麻縄、磯ノ海始め主力部屋の力士に勝っていることか、十兩、幕内でも十分通用すると思われる。今後の活躍が期待される。